

自然と暮らし、自然に学ぶ、豊かな暮らしを考える情報誌

ご自由にご覧
TAKE FREE

#29
2018.12
Winter Issue

[宮城版]

今年は
暖かい冬に
なりそうです。

ふんわり

くりこまくんえん

ペレットで温まりませんか？

手のひらに太陽の家

みんなの思いをつないでゆく

ふんわりズム、 ふんわりスト。 ism + ist

ブルーファーム

BLUEFARM

早坂正年さん

Masatoshi Hayasaka



それぞれの場所で輝きながら、
スツと立っている人がいます。
しかも、ふんわり。
そんな人たちに、会いにいきました。
ふんわりの、巻頭リレー。

愛知県出身の早坂さん。今では奥様の地元である岩出山で生活しています。ブルーファームさんの本拠地も岩出山。見ず知らずの土地にきて不安はありませんか？との質問に、「そこに新しい友人ができ、人の輪が広がっていく、ワクワクするじゃないですか？」と人懐こい笑顔がかえってきました。その笑顔に、人が集まり仲間が増えることに納得です！！

しかし、その人懐こい笑顔からは想像できませんが仕事は本気かつチャレンジング!!立ち上げ当初から「日本二高いホテルとレストラン」に東北の食材を使っていただく!!という目標を掲げ、それを実現!!日本二高いホテルとレストランに米の契約を結び付けるなど、設立当初からその手腕を発揮しています。グッドデザイン賞を獲得するなど、今ではそのデザイン力、ブランディング力は地域の人のみならず多くの人たちに認められる存在です。しかし、早坂さんは「地域の人々と土地柄があって初めてできたこと」とあくまで岩出山を始めとした東北のコミュニティと支えてくれたメンバーに感謝の気持ちを忘れません。

現在は、大きくジャンプするためには一度しゃがむ必要があるように、新しい取り組みのために色々計画を真剣に考えている最中、さらなる飛躍が楽しみです。



東北の一次産業を デザインの力で盛り上げる!!

大崎市岩出山の城下町に、ブルーファームさんを訪ねました。事務所とカフェがある空間は香ばしいコーヒーの香りと、ブランディングとパッケージデザインを行った多くの商品が並びます。ブルーファームは「八百屋とデザイン事務所の融合」をテーマに、5年前に設立。現在は、5人のメンバーで、デザイン力と発想力、様々な人脈から、商品のブランディングやデザインはもちろん、店舗のデザインまで、仕事の幅を広げています。ふんわりした優しい雰囲気と熱い想いを心に秘めた代表の早坂さんにお話を伺いました。

早坂さんは、大学を卒業後、食品を取り扱う会社に就職、嫁いだ先が兼業農家を営んでいたことや近しい人が一次産業に従事していたこと、前職で食品を取り扱っていた経験から、「震災後の東北の農作物

※カフェの営業は新しい計画の為に一旦おやすみ。おいしいコーヒーとアップルパイは今しか味わえません、お早めに。

data & information

〒989-6436 宮城県大崎市岩出山字二ノ構65

TEL 0229-25-5442/FAX 0229-25-5443

営業 毎週土曜日・日曜日11:00 - 16:00

農家さんと協力のイベントやワークショップなど、HPをチェック。

<https://www.bluefarm-d.com>





	ふんわりズム、ふんわりリスト。
02	BLUEFARM 早坂正年さん
	くりこまくんえん
04	ペレットで温まりませんか？
	くりこま高原自然学校
05	工房はひふへほ リンゴ箱
05	すがっちコラム
	手のひらに太陽の家
06	みんなの思いをつないでゆく
	しんりん
07	眠れる森への招待状 山仕事のパートナーVI
	サステナライフ 森の家
08	家族が集い伝統を受け継ぐ平屋
09	ふんわりレビュー シュナの旅
09	ふんわりグッズプレゼント
10	イベントカレンダー
12	わたしたちのこと
12	ファンレポート！ いわい鶏のグリーンカレー



07 05

08



Cover Photo

どっさり雪が積もった朝。ただ歩くだけ、それがなんだか楽しくて、寒さも忘れます。



この印刷物は地産地消・輸送マイルージに配慮したライスインキを使用しています。

ふんわりではホチキスを使用していません。リサイクルするときのことを考えて、このような形でお届けします。ちょっと不便だけどちょっとやさしい。どうかご理解ください。

編集長
ぼすとすくりふと

12月は師走です。編集部員は師走前から忙しくしておりますが、なんとかかんとか29号発行。次回は記念すべき30号です。平成最後の年末年始、少しでも皆様の心がふんわりして、すばらしい行く年来る年が迎えられますように。

No staples.
ホチキスを
使わずに。

ペレットで温まりませんか？



皆さんは何を暖房として使っていますか？今回ご紹介するのは木質ペレット燃料です！

くりこまくんえんでは、このペレット燃料を製造・販売しております。くんえん+自然乾燥が終わり、お客様へ木材出荷する前にカンナをかけます。その際に発生するカンナ屑が、くりこまくんえんではペレットの原料となっています。圧縮のみで固形化し、燃やしても自然に悪影響を及ぼさない。木が燃えるオレンジ色の炎は、目で見て温かくしてくれます。

また、ストーブに燃料を入れる際も木の香りがして癒されたり、化石燃料とは違い、目・鼻そして全身で温かさを感じてみませんか？

くりこまくんえんではペレットストーブの体験ルームをご用意しております。

実際に温かさを実感して頂ければと思います。☑



岩ヶ崎のお店
宮城県栗原市栗駒岩ヶ崎六日町51-1 1F
毎週土曜日 10:00 ~ 16:00
※事前にご予約頂ければいつでもご覧いただけます。

KURI▲**OKU**

株式会社くりこまくんえん

〒989-5401 宮城県栗原市鶯沢袋島巡44-7
☎0228-55-3261 info@kurimoku.com

<http://www.kurikomakunen.jp/>



りんご箱



塚原俊也

くりこま高原自然学校のアクティビティ担当。運営から指導まで八面六臂の大活躍。静かに燃える意志は炭火のように強くて温かい。

材料 ①りんご箱 ②ロープ2本 ③ステンシルシート

- 1 りんご箱に穴あけドリルなどで取っ手用のロープを通す穴をあける。
- 2 ロープを通す。(ロープは使い古しの物でもOK)
- 3 ロープを一度はずし、ガストーチでりんご箱の表面に焼き色を付ける。焼いた後は亀の子たわしで磨いて表面の煤(すす)を落とす。焼き色を付けることで木目がしっかりと出て雰囲気アップ!!
- 4 ステンシルシートの文字を選んでセットする。今回は薪を入れる箱を作りたいかったので「FIREWOOD」をチョイス。
- 5 塗装用のローラーを使って色づけ。今回は白い塗料です。
- 6 取っ手付きの薪運びBOX完成!!



東北ではおなじみのりんご箱。今回は山暮らし仕様で薪運びBOXにリメイクしてみました。みなさんも自分のアイデア次第で箱や棚などにリメイクしてみてください。

工房

koubou

はの火
つかちゃんが見たたり・聞いたたり・教わってきた、暮らしに使えるクラフトを「紹介」します。

歩平穂

栗駒山暮らし×子育て日記のような、手紙のようなふんわりコラム

SUGACCHI COLUMN

また別の話では、いま70歳くらいの方の子どもの時代の思い出として、「その冬一番の大雪の朝に、腰まである雪をかき分けて学校(耕英分校)まで歩いて行った。昼過ぎにようやく学校に着いたら、先生がひとり

雪国に暮らしただ人の苦勞は、雪国に住んだことのある人にしか、わからない。なにかの文章で見かけた言葉があって、その通りなのだろうと思う。耕英地区といえは冬。とにかく雪が多くて冬が長い。とはいえず、戦後の開拓時代のころに比べると、ここ数年の雪の量は少ないわけですが、開拓史の中には、12月にはいっても雪が降らない年があり、20日過ぎになって一晩で2メートル近く雪が降ったことがある。これでは大変だといつて里に下りようとした人たちが出かけたが、丸一日かかっても集落の端に建つ家までしか歩けなかった。という記載があった。当時は林道や藪の中心で、いまの道路の距離にして5キロくらいの間だと思ふ。

中において「こんな日は学校は休みなんだよ」と言われて帰ることした。学校が休みと聞いて、嬉しい気持ちいっぱい歩いて行けたけれど、家に着いたのは夕方になっていて、帰ったら疲れ果ててそのまま寝てしまった。という作文もある。風雪とともに暮らしただ、耕英地区の時間を感じる。

いまではそんなにも多く降ることはないけれど、それでも宮城県では積雪が多い場所として、わざわざここに住んでいることを不思議に思われたりすることもある。暮らしの中には不便なこともあるけれど、これまでしか見た感じたりできないこともたくさんある。日ごとに寒くなって、つらい朝ほど、目が覚めるような朝日が照らして、山の景色が澄みきっていく。こんな大きな自然の中で、自分の気持ちほど小さいものはないな、と思いながら、薪を積んだり森を歩いたりして、冬のはじまりを感じている。☑



すがつちくりこま高原自然学校のスタッフで3児の子育て中。天性のホスピタリティで来ている人々をもてなし続けている。栗駒山にお越しの際は、自然学校にも、いらっしやい!



手のひらに 太陽の家

tenohira-press | 通信 |

みんなの思いを つないでゆく



東日本大震災の復興支援施設として2012年7月に開所された「手のひらに太陽の家」は、6年が経過した今、その役割を地域と共に未来をつくる拠点施設へと移行しつつあります。みんなが集まるホールは、小さな子どもを連れたいお母さんたちからお年寄りまで安心して食事やお茶を楽しめるカフェスペースとなり、時には学びの場、時には町の未来を熱く語る場に変わります。地域の伝統を伝える講座や各種イベント、大学生から地元のスポーツ少年団の合宿に使われることもあります。



先月の11月18日は、この施設をみんなさんに知っていただくため「オーブンデイ」と称して、小さなお祭りを開催しました。庭では子供たちと焼きイモを焼いてみたり、にわとり小屋の板にお絵描きをしたり、置いてあった棒つきれでものつくりを楽しんでみたり、初めて包丁で柿の皮をむいて親子で干し柿をつくってみたり。農業男子のおもちつき、茅葺き職人さんの竪穴式住居づくりのデモンストレーションもありました。



みなさんにご利用いただいています。環境に配慮して、持続可能な社会をつくらうという試みも開設当時から継続しています。自然の恵みをいただくことは、人の手も、時間もかかることです。竪穴式住居づくりのデモンストレーションでのお話の中に、茅葺き屋根が一般的だったころは大変だったけれど、それが人と人をつなげる場になっていたというお話もありました。

みんなの思いを積み重ねて次の世代につないでゆくのもこの家の役割であります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



「7/24total」営業していません
楽しいイベントもお知らせ!

手のひらに太陽の家 TEL 0220-23-9755

一般社団法人くりこま高原自然学校

TEL&FAX 0228-46-2626 / E-mail kouei@kurikomans.com

facebook 手のひらに太陽の家プロジェクト

検索



mont-bell

ご興味のある方は
手のひらに太陽の家までご連絡ください。

手のひらに太陽の家では研修宿泊、ワークショップ、イベント時のレンタルスペースの利用など、ご希望にあわせてご相談に応じます。ぜひ一度お気軽にお問い合わせ下さい!

山仕事のパートナーVI



眠れる森への招待状



初雪が降りました！冬です。伐り旬を迎え、木こり達は伐採作業で大忙しです。伐採で使うのはチェーンソー。5kgもの重さがある道具です。大変だけど、重い方が安定して伐ることが出来ます。ところどころ皆さん、チェーンソーってノコギリが機械化されたものだと思ったりしませんか？ノコギリとチェーンソーは、実は全く違う仕組みで木を伐っています。文房具に例えるなら、ノコギリはカッター、チェーンソーは彫刻刀。切るのではなく、鎖状に繋がった沢山の小さな刃で削っています。だからチェーン（鎖）ソー（ノコギリ）。

木こり達の朝の日課はその沢山の小さな刃を一つ一つ丁寧に研ぐ（目立てする）ことから。常に切れ味抜群の状態です。事に挑みます。ごつい見た目に似合わずチェーンソーの刃は繊細で、土に当た

るだけで切れ味が落ちてしまいます。それならそれ以上の作業は中止。一旦手を止めて研ぎ直し、切れ味を回復させる方が、結果的に作業も早いのです。切れないチェーンソーは効率が悪いだけでなく、とっても危険。しんりんで開催している木こり講座では、時間をかけて目立てを指導しています。買って以来一度も…なんて方はかなり切れ味が落ちているはず。新しい刃に変えた方がいくらいになっているかも？是非この機会に目立てをマスターして良い状態に保てるようにチャレンジしてみてください！！





石巻市雄勝町、雄勝湾が一望できる高台に立つ平屋住宅が完成しました。ふんわり#26で工事の状況をご紹介させて頂いたお宅です。東日本大震災がもたらした未曾有の大津波で一瞬にして自宅や職場が、そして、築き上げたものが奪われました。その再建の第一歩である住宅が完成しました。

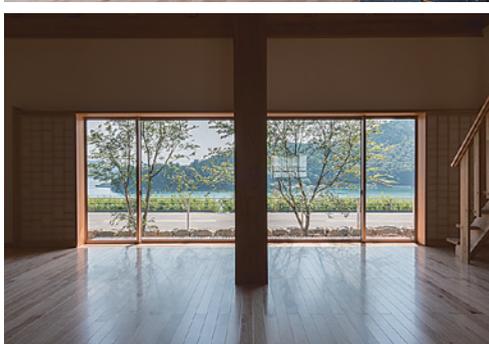
細部に見える地域文化と職人の技術

完成した建物には職人のこだわりや技術が見え隠れしています。地域原産の雄勝石の利用も扱える職人も減っています。この雄勝石を建物の象徴的な部分に利用しています。大工は、住まい手さんが使いやすいよう工夫し、建物が美しく見える小さな工夫をしています。住まい手さんには、お話ししないと気付いてもらえないような技術が隠れています。



木材の力強さとおおらかなさを感じる空間

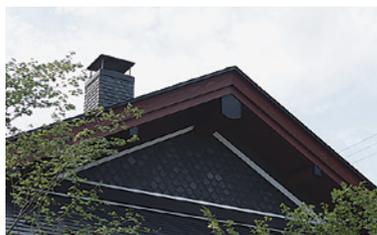
太さが2尺（約60cm）以上あるケヤキの大黒柱と9mと8mの棟木が大空間を支えています。梁や柱が全て見えるつくりなので、大きな材料が大工の技術で組み合わせられて、力強く安心できる空間になっています。大黒柱は丸太のままで、まるで山に立っていたまの姿のようです。その大黒柱と組まれている梁や棟木は太鼓梁を使い木目を活かしながら枝の様に空間を支えています。ケヤキの大木の下で暮らしているようなおらかな空間です。



家族が集い、伝統を受け継ぐ平屋

自然素材の風合いが魅力的な土塀

敷地と道路の境界には土塀が建っています。室内からの海を望む眺望は遮らず、道路からの視線は遮ってくれます。今はあまり見ることもなくなった土塀を左官職人さんの技術を活かしくっていただきました。数年後には、小さい植木が成長し赤い土壁と植物の緑、雄勝湾の青のコントラストが楽しみです。S



自然をつなげる
持続可能で豊かな暮らし

サステナライフ森の家

FunwaReview

編集部員の本棚より

シュナの旅

宮崎駿 著

徳間書店 (1983/6)

ISBN-10 : 4196695108

ISBN-13 : 978-4196695103

くりこま高原自然学校
塚原俊也

1983年に宮崎駿が、チベットの民話をもとに描いた絵物語です。人々の生まれ育った土地への愛着、作物への感謝、人間の業、そして希望など今この時代に読むからこそ深く考えさせられる物語です。その後の宮崎作品にも共通する美しいオールカラーのイラストや作風も魅力だと感じる一冊です。【K】



イラスト：ぼるたさん (宮城県)



- ▶ 2才9ヶ月、毎日自然や公園のあるところ遊びに行ってます、今の気持ちを裏面にイラストにしました。
- ▶ たいま箸の使い方練習中。きこり箸使えるようになりたい。
- ▶ いつも楽しく拝見しています。自然に関する特集がふんだんに入っていて、何度も読み返しています。森に、栗駒に生きたくなりました。(どんぐりさん)



ふんわり
プレゼント

プレゼント応募はがきを書いていただいた、読者のみなさんからのお便りを紹介します。

イラスト：ハー太郎さん (宮城県)

プレゼント
ズワリ
ト

1

present!

手のひらに太陽の家
ロゴマーク入り
クリアファイルセット
A4サイズ・4色8枚セット
【3名様】



2

森林木香 きこり箸
【3名様】



3

ふんわりと同じ
森林認証紙で作った
10x10x10cmメモ
【3名様】



巻末の応募券と希望の番号・差出人の住所とお名前(プレゼント送り先)を書いてご応募ください。その際以下の項目もお書き添えくだされば嬉しいです。【①ふんわりを読んだ感想(気持ちや気づき・編集部へのメッセージなど)②プレゼントを選んだ理由・使い道③ふんわりを手に入れた場所】



板倉マイスター講座 in 仙台【特別集中講座】

12
M/S 3/9(土)・10日、16(土)・17日、23(土)・24日

板倉マイスター講座が仙台泉区(サスティナライフ森の家 本社)で開催!三週連続の特別集中講座です。【定員】各回20名【学割特典】テキスト5,000円、保険料のみで受講ができます!詳細はホームページ、Facebookをご覧ください。※この講座は平成30年度農山漁村振興交付金を受けて実施されます。

森のようちえん・小学校

2
☑ 12/22(土)、23日

テーマは「は・ひ・ふ・へ・ほいく」!
自然の中で、大人も子どももリラックス♪

山の暮らしキャンプ

3
☑ 冬休み編 12/24(月)~28(金)

春休み編 3月下旬(予定)

小学1年生~中学生対象の冬休みキャンプ。
栗駒山で暮らし体験&冬の遊びを満喫しよう!



冬休みスノーキャンプ

4
☑ 1/4(金)~6日(2泊3日)

小学1年生~6年生対象。栗駒山で仲間と一緒にチャレンジ!自然学校が大切にしている「はひふへほいく」のキャンプです。

くりこま高原自然学校 冬の常設プログラム

☑ 12月~3月に開催予定

冬でも元気にアウトドアしましょう!スノーシュートレッキング、ネイチャースキー、石窯クッキングなど、個人やグループ向けにプログラムを提供します。まずはお気軽にお問い合わせください。

森のようちえん・小学校 冬の親子キャンプ

☑ 3/23(土)~24日(1泊2日)

自然の中で、大人も子どももリラックス♪0歳から参加できるキャンプです。まだまだ雪の残る栗駒山で思いっきり遊びましょう。

春休みの冒険キャンプ

☑ 4月上旬(予定)

小学4年生~中学生対象の冒険キャンプ。自然学校の暮らしはもちろん、栗駒山登山や雪中泊に挑戦します!

手のひらに太陽の家メンテナンス+交流DAY

☑ 2/17日

木でできた家は人の手で素直に年を重ねることが出来ます。皆さんのひと手間を太陽の家にかけ、終わったあとは、暖かい食事をいただきながらの交流会を予定しています。詳細は追ってfacebookにてお知らせいたします。



詳しい情報は巻末一覧から各団体HPをご覧ください。

28	29	1	2	3
4	5	6	7	8
9	10	11	12	13
14	15	16	17	18
19	20	21	22	23
24	25	26	27	28
29	30			



会場は
国立岩手山
青少年交流の家

自然体験活動フォーラム in 岩手山 2018

【1/18(金), 19(土), 20(日)】

自然体験活動をキーワードとした様々な分科会を通じて、自然体験活動の持つ価値について、参加者の皆様と一緒に考えます。自然体験活動・環境教育の指導者や、ボランティアとして活躍の方はもちろん、行政の方、地域おこし協力隊、学生から社会人、保護者の方まで、どんな方でも歓迎です。様々な気づきや発見、そしてつながりの生まれる場にしていきましょう。会場：国立岩手山青少年交流の家（岩手県滝沢市後292）

全体会「自然体験活動のソーシャルバリュー」
「SDG'sについてみんなで考えよう(仮)」

分科会(1日目)

- ・森のようちえんカフェ①「森で育つこどもたち」
- ・森のようちえんカフェ②「森のようちえんの実践事例」
- ・発達に気になる子の育ちを促す自然体験活動
- ・自然体験活動で地域をリ・デザイン
- ・事故事例から学ぶリスクマネジメント



分科会(2日目)

- ・森のようちえんカフェ③「森のようちえんの実践事例」
- ・「五感は古い、自然体験で七感を育む」(感覚統合×自然体験)
- ・子どもを対象としたインタープリテーション
- ・あなたの知らないキノコの世界
- ・来年の東北フォーラム作戦会議

★フォーラムに先立ち、第一部として、自然体験活動指導者対象の指導者養成講座を開設。自然体験活動上級指導者研修・更新講習会 1月18日(金)

お申込み webサイトより http://cone.jp/caravan_iwatesan/



日 月 火 水 木 金 土

2 3 4 5 6 7 8

9 10 11 12 13 14 15

16 17 18 19 20 21 ~~22~~

~~23~~ ~~24~~ ~~25~~ ~~26~~ ~~27~~ ~~28~~ 29

30 31

1 2 3 ~~4~~ ~~5~~

~~6~~ 7 8 9 10 11 12

13 14 15 16 17 ~~18~~ ~~19~~

~~20~~ 21 22 23 24 25 26

27 28 29 30 31

1 2

3 4 5 6 7 8 9

10 11 12 13 14 15 16

~~17~~ 18 19 20 21 22 23

24 25 26 27 28

1 2

3 4 5 6 7 8 ~~9~~

~~10~~ 11 12 13 14 15 ~~16~~

~~17~~ 18 19 20 21 22 ~~23~~

~~24~~ 25 26 27 28 29 30

31

1 2 3 4 5 6

K くりこま高原自然学校

M NPO法人 しんりん

S サステイナライフ 森の家

T 手のひらに太陽の家

R くりこまくんえん

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

わたしたちのこと。

ふんわりをキーワードに集まった私たち。
業種もフィールドも違うけど、ユニークでオンリーワンで、おもしろいことができそうです。

くりこま高原自然学校

☎ 0228-46-2626

宮城県栗原市栗駒沼倉耕英中 57-1

<http://kurikomans.com/>

栗駒山麓をフィールドに、栗駒山、ブナの森、世界谷地、湿原など大自然をご案内します。



KURIOKU

(株)くりこまくんえん

☎ 0228-55-3261

宮城県栗原市篤沢袋島巡 44-7

<http://www.kurikomakunen.jp/>

伐採・製材・チップ・ベレットと一貫した事業を行っている、材木屋です。お客様が安心して暮らせる木材を提供しています。

NPO法人 しんりん

☎ 0229-25-4668

宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木 70 番地
エコラの森内

<http://shinrin.org/>

森林再生と地域活性化を目指し、持続可能な森づくりとごこりの育成を実行中。



手のひらに太陽の家

☎ 0220-23-9755

宮城県登米市登米町寺池辺室山 17 番地 1

<http://taiyounoie.org/>

東日本大震災で被災した子どもたちを受け入れている復興共生住宅。環境教育、企業研修、レンタルスペースなど多面的に事業を展開中。



サスティナライフ 森の家

☎ 022-725-2775

宮城県仙台市泉区福岡字西森下 39-13

<http://www.sustainalife.co.jp/>

地域の資源や職人の技術を次代に受け継ぐ、「サスティナブルな暮らし」を提案する住宅会社。



記事執筆・お問合せ…
記事最後のアルファベットをご参照ください。

㊦ くりこま高原自然学校

㊧ NPO法人 しんりん

㊨ サスティナライフ森の家

㊩ 手のひらに太陽の家

㊪ くりこまくんえん

ふんわりに広告を載せてみませんか。

詳しくは編集部までお問合せください。

ふんわり 第29号

[宮城版]

[2018年12月10日] 季刊(年4回発行)

ふんわり編集部

〒981-3225

宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13

☎ 022-725-2775

funwarinfo@gmail.com

twitter [funwari_miyagi](https://twitter.com/funwari_miyagi)

[freefunwari](https://www.facebook.com/freefunwari)

Funwari-report アンワリレポート!

世界的に有名なバンコクのタイレストラン「ナム」での研修後、更においしくなりました。手作りのレトルグリーンカレー、完成です。素材も体に良いものを選んで使用しています。心も体も元気になりますように。贈り物にもおススメ。

和sian-cafe
aimaki

宮城県本吉郡南三陸町歌津字長羽143-21

電話 0226-29-6809

営業時間 11:00 ~ 21:00

ランチタイム 11:00 ~ 14:00 / ラストオーダー 21:00

定休日 毎週水曜日と第1土曜日

いわい鶏の グリーンカレー



宮城版 5,000部

印刷：コンカツ印刷

岩手県一関市中央町1丁目7-16 ☎0191-48-5963

京浜で初取り、ご希望のプレゼント番号をそえてご応募ください。
2019年2月28日まで有効
応募券

ふんわり 第29号 2018年12月10日発行 ふんわり編集部:宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13 ☎022-725-2775 funwarinfo@gmail.com